

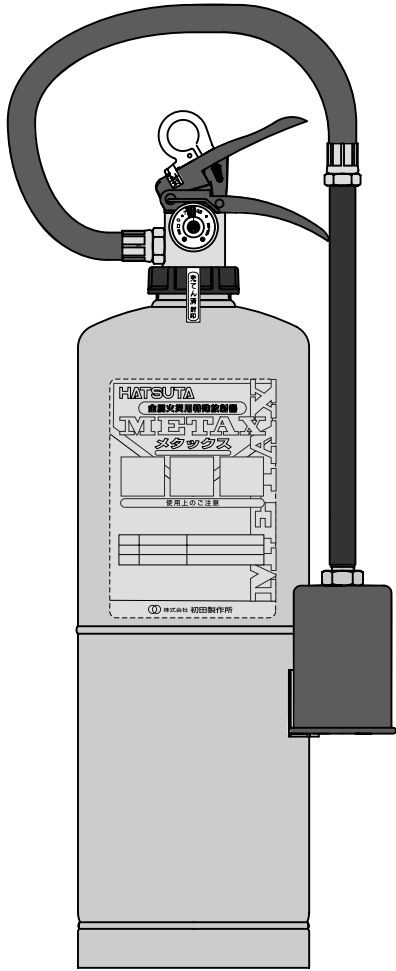
取扱説明書

HATSUTA
金属火災用放射器

圧力計付

メタックス

蓄圧式 粉末(金属火災用)放射器 ●ストップ付 PMP-20



このたびは、ハツタ金属火災用放射器メタックスをお買い求めいただき、まことにありがとうございました。ご設置、使用される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい設置、正しい使い方をしてください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

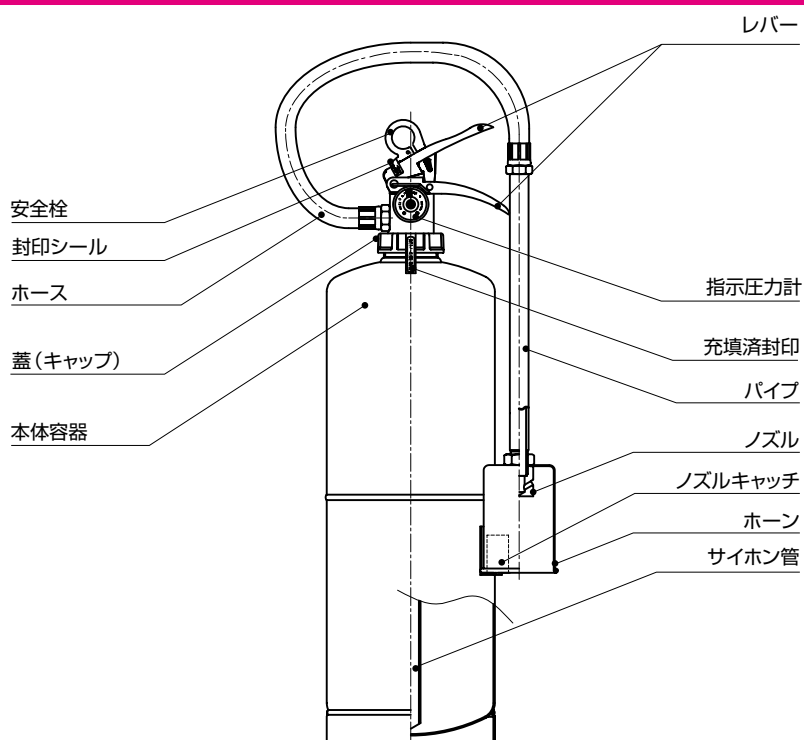
株式会社 初田製作所

放射器は圧力容器です。取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。

●取扱説明書では、ご使用上の注意内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害、損害の程度を「危険」「警告」「注意」で表示しています。

危険	取扱い上容器が破裂し重大な人身事故が発生し、「死亡または重傷などを負う切迫した危険状況を示す」内容です。
警告	設置上及び使用上「死亡または重傷などを負う潜在的な危険状況を示す」内容です。
注意	設置上及び使用上「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

各部のなまえ・構造図



構造図はPMP-20 (ストップ付タイプ)

ストップ付は、一度放射させても上レバーから手を離すと放射を途中で一時的に止めることができ有効放射が行えます。放射動作を行い、ストップした放射器の内部圧力は時間の経過と共に下がり、圧力保持はできません。本放射器は金属火災用のため、ストップ付きですが全量放射を行ってください。

- メタックスは金属火災の消火に適応していますが、火災の種類により適・不適があります。
- 放射器はあくまで初期消火に威力を発揮しますが、火災規模、状況等により、どんな火災でも消火できるとは限りません。そのため、正しい使用法に基づいて放射器を使用したにも拘らず消火できなかったことによる人的、物的損害についての賠償の責はご容赦願います。

適応火災

〈メタックス〉は金属火災用として開発され、アルカリ塩化物を主成分とした消火薬剤を金属の微粉末や箔類の燃焼物に幾重にもかけ消火します。

●消火対象物

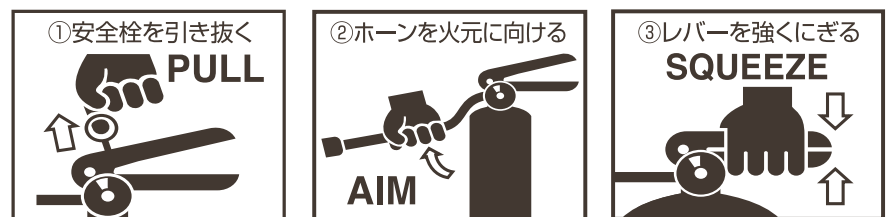
マグネシウム・アルミニウム及びこれらの合金の火災に適応します。上記以外の金属については営業担当者へご相談ください。

使用方法

放射器本体容器のラベルに表示しています。

- ① 上レバーの黄色の安全栓を上方向に引き抜く。
- ② ホースをはずし、ホーンを火元に向ける。
- ③ 上下レバーを強く握り、燃焼物をおおうように放射する。

※本放射器はABC粉末消火器とは異なりゆるやかに薬剤が放射されます。



※内部が十分冷えるまでそのまま放置してから金属残骸いを処理してください。

使用後について

使用済の放射器は、販売店に依頼し速やかに再充填するか新しい放射器を設置してください。絶対に分解しないでください。

放射器の回収・リサイクルについて

※回収、廃棄の際は専門業者又は以下の電話番号にお問い合わせしてください。
※なお回収、廃棄処理には、費用がかかりますので有料処理となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

回収・リサイクル
相談窓口

お問い合わせ・ご相談は
フリーダイヤルでどうぞ

☎0120-82-2306

電話受付時間 10:00~12:00, 13:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

<http://fecycle.jp>

放射後の健康被害防止の為の注意事項

- 粉末消火薬剤は消火を目的とし、安全性が高く身体への影響は軽微です。
- 通常の使用により薬剤を吸引した場合、眼・鼻・喉に違和感を生じることがあります。
- 消火薬剤の清掃には十分な換気のもと、吸引及び眼・皮膚等に付着しないようマスク等の保護具を着用してください。
- 万一身体に異常を感じる場合は、医師の診断を受けてください。

製造元 株式会社 初田製作所

本社 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3丁目5番地

<http://www.hatsuta.co.jp>

アフターサービスについて

お客様相談窓口

お問い合わせ・ご相談は
フリーダイヤルでどうぞ

☎0120-82-2041

電話受付時間 10:00~12:00, 13:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

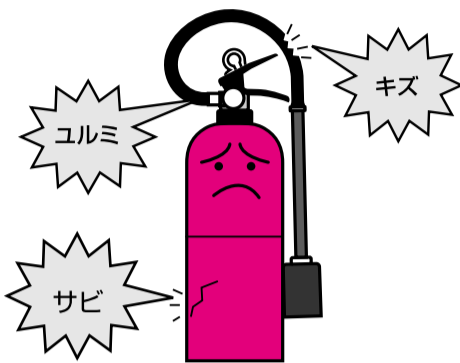
販売店

危険

放射器本体容器の破裂等により人身事故発生の恐れがあります。該当する放射器は絶対に使用しないでください。また、取扱いは十分ご注意ください。

1.サビ・傷・変形・キャップ及び部品のゆるみ、脱落のあるものは絶対に使用しないでください。

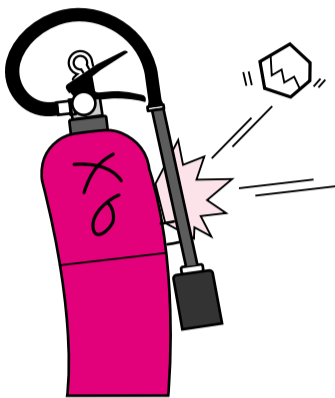
5年以内の放射器でも該当するものは、使用しないでください。



2.分解しないでください。

3.放射器は圧力容器です。放射器に強い衝撃を与えないでください。

本体容器の破裂等により人身事故発生の恐れがあります。



※放射器を廃棄される場合は必ず回収・リサイクル相談窓口にご相談ください。

警告

1.腐食しやすい場所、湿気の多い場所、潮風や風雨にさらされる場所に設置しないでください。



2.濡れた床や地面に直接置かないでください。

3.使用温度範囲を超える場所に設置しないでください。

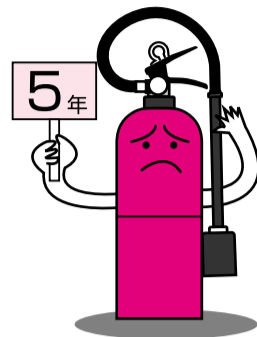
4.絶対に人に向けて放射しないでください。

呼吸困難や危害発生を招く恐れがあります。

5.避難経路を確保しながら消火してください。

6.製造年から5年を過ぎたものは使用しないでください。

5年を超えて使用すると、けがなどの事故になる恐れがあります。



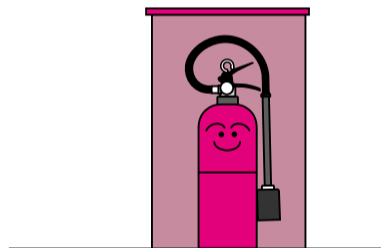
7.放射器の清掃は、水洗いや有機溶剤(ガソリン、ベンジン、シンナー等)及び中性洗剤を使用しないでください。

サビ、ホースの変質、消火薬剤の吸湿の原因になります。乾いた布等による清掃をおすすめします。

注意

設置上の注意

1.直接の床置きは避けてください。放射器本体にキズ、サビ等が発生する原因になります。又、屋内では床等にキズが発生する原因になります。設置台、格納箱での収納をしてください。



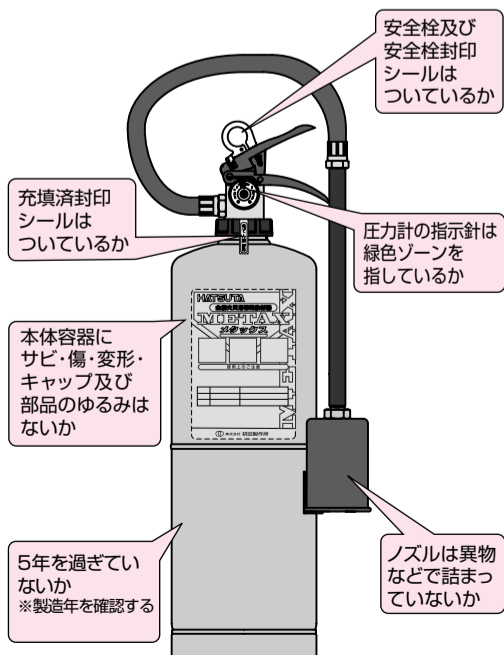
※設置台、格納箱は販売店にお申し付けください。

2.通行又は避難に支障がなく、すぐに持ち出せる場所に設置してください。

3.地震や振動で放射器が転倒・落下しないように設置してください。

4.6ヶ月に一度外観点検をしてください。

異常を発見した場合は、速やかに販売店に連絡し、整備等の処置をしてください。



※点検の際、消火薬剤の固化防止のため、放射器を上下逆さまにして、内部の消火薬剤をほくしてください。

使用上の注意

1.適応火災は放射器本体のラベル表示と、この取扱説明書を確認ください。

(燃焼物によっては適・不適があります。)

2.放射器は金属火災の初期消火をする器具です。消火範囲には限度があります。

火災の大きさ、消火開始の時期、適応火災の条件により消火できない場合があります。

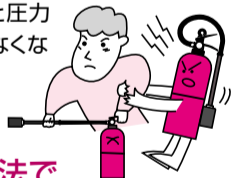


消火に際して

- ムリな消火活動はしないでください。火災拡大の恐れがあります。
- 消火に際しては、逃げ道を確保して消火してください。
- 屋外での消火は風上より消火してください。

3.ためし放射をしないでください。

そのまま放置すると圧力が低下し使用できなくなります。



4.正しい使用方法で消火してください。

放射器本体容器のラベルに表示している使用方法に従って消火してください。

★金属の燃焼物に消火薬剤が堆積するように充分かける!!



5.消火の際、火に近付き過ぎないようにしてください。

燃焼温度が高く、燃焼速度が遅い金属火災は、金属の微粉末や箔の飛散や、炎の吹き返しにより火傷等の恐れがあります。



6.パイプはしっかり握って消火してください。

パイプを手放すと放射方向が定まらず消火ができなくなります。

7.火元に向けて最後まで放射してください。

表面が消火されても、内部で燃焼していますので最後まで火元に向けて全量放射してください。

8.放射器は絶対に火中に投げ込まないでください。

放射器が破裂するなど大変危険です。正しい使用方法で消火してください。



9.放射時には本体を垂直にして使用してください。

斜めにすると放射の状態が悪くなります。絶対に逆さにして使用しないでください。

10.恐しい火災発生時のガス。

火災による発生ガスは人体に有害です。換気の悪い狭い部屋での消火は注意してください。

11.粉末消火薬剤は大量に吸わないでください。

粉末消火薬剤は人体に対して毒性はありませんが、大量に消火薬剤を吸い込むと、呼吸困難をおこす場合があります。



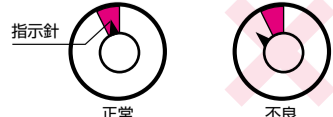
12.ホース・パイプにキレツのあるもの、ノズルが離脱しているものは使用しないでください。

13.黄色い安全栓の付いていない放射器は使用済みです。

速やかに販売店へ連絡して再充填するか、新しい放射器に交換してください。

14.ときどき圧力計を見てください。

圧力計の指示針が緑色ゾーンを指していれば正常です。不良の時は、速やかに販売店へご相談ください。



使用後の注意

1.ガスが関連した火災ではガスの元栓を必ず締めてください。



2.消火薬剤が身体にかかったり、目に入った場合。

- 身体にかかった場合
水洗い等をして十分洗浄してください。



- 目に入った場合

速やかに水洗いし、充血、目の痛みを感じたら医師の診察を受けてください。



3.消火薬剤のかかった食物は食べないでください。



4.飛散した消火薬剤は速やかに清掃してください。

(放置しておくとかびの発生、金属類の腐食、電気絶縁の低下の原因となります)

5.使用した放射器の交換もしくは消火薬剤の詰め替えは販売店に依頼してください。